

①技術者研修

県内企業の技術的課題の解決および技術者の資質向上を図るため、企業等からの依頼により加工技術や分析技術、その他の専門技術に関する研修を行う。

②機器・設備取扱研修

特殊機器等、高度な分析・加工技術が要求される設備機器について、その操作技術に関する研修を行う。

4.2 工業研究費（受託）【再掲】

4.2.1 うるま市コンカレントエンジニア人材養成事業

本事業では、2009年（平成21年）から人材養成事業を継続して行っている。当初、この取り組みは、優秀な金型技術者を育て、豊富な人材をアピールすることで県外から金型メーカーを誘致することを目的としていたが、現在、うるま市にあるサポーターティング産業集積促進ゾーンには13社の企業が立地するに至り、人材養成の主な目的も企業誘致から企業内人材の育成へと変わってきている。

そのため、本事業では令和3年度から、主に企業人材の育成を目的とした技術研修を実施しており、昨年度は「RaspberryPiを用いたIoT入門」および「火花試験」を実施した。今年度も企業からの要望に対応する形で技術研修を行う。

5 施設整備

5.1 工業研究施設整備費

当センターの試験研究・技術支援業務を効果的に推進するため、分析・試験装置、加工機械等を整備する。本年度は、公益財団法人JKAの機械工業振興補助事業の外部資金を活用し『デザインシステム』『CAEシステム』を整備するとともに、県独自予算で既存機器の修繕、保守を行い、『示差熱分析装置』等機器の整備を行う。

5.2 工業技術センター保全整備費

当センターの試験研究・技術支援業務の円滑な推進と当センター利用者の安全を確保するため、中長期整備計画に基づいて施設や設備を計画的に修繕・更新し、サービスの維持を図る。